

隼人族の守護神

弥五郎どんが起きいどん



弥五郎どん祭り

今年も秋の風物詩「岩川八幡神社の弥五郎どん祭り」が11月3日、岩川八幡神社を中心に盛大に開催されました。

弥五郎どんは隼人の酋長あるいは武内宿弥の化身とも言われています。昭和63年には、鹿児島県無形民俗文化財に指定され、民俗学的な価値も高く評価されており、毎年多くの観衆が訪れています。

今年も、四年に一度の本体と衣装の作り替えの年で、製作段階から注目を集めていました。

当日は、午前1時の「弥五郎どんが起きつどく」のふれ太鼓

を合図に祭りがスタート。1年ぶりに目覚める弥五郎どんを一目見ようと、深夜にかかわらず境内は多くの参拝客で賑わいました。

午後1時からは祭りのメインとなる弥五郎どんの浜下り。子どもたちに引かれた弥五郎どんが鳥居をくぐり登場すると、観衆から大歓声が上がります。祭りのボルテージは一気に最高潮に！

市街地に練り出した弥五郎どんが、太鼓衆の迫力ある演奏に乗って、体を左右に揺さぶりながら練り歩く姿はまさに威風堂々。観衆たちは、巨大な弥五郎

郎どんを見上げながら、その姿に圧倒されていました。

市街地を練り歩く際、唯一の難所、岩川高架橋くぐりは、そのままでは、どうしてもくぐる事が出来ません。それをイナバウアーのような海老ぞりのような格好でくぐり抜ける姿も鳥居をくぐる時と同様、たくさん観衆が集まり、歓声があちこちから聞かれました。

祭りでは、他にも奉納武道大会やバレーボール大会などの催しが行われ、いずれも大勢の人で賑わいました。



①



②



③



④



⑤

- ①暗闇の中目覚める弥五郎どん
- ②弥五郎太鼓の勇壮な演奏
- ③市街地を練り歩く弥五郎どん
- ④新調された弥五郎どんの衣装
- ⑤弥五郎どんの製作風景